

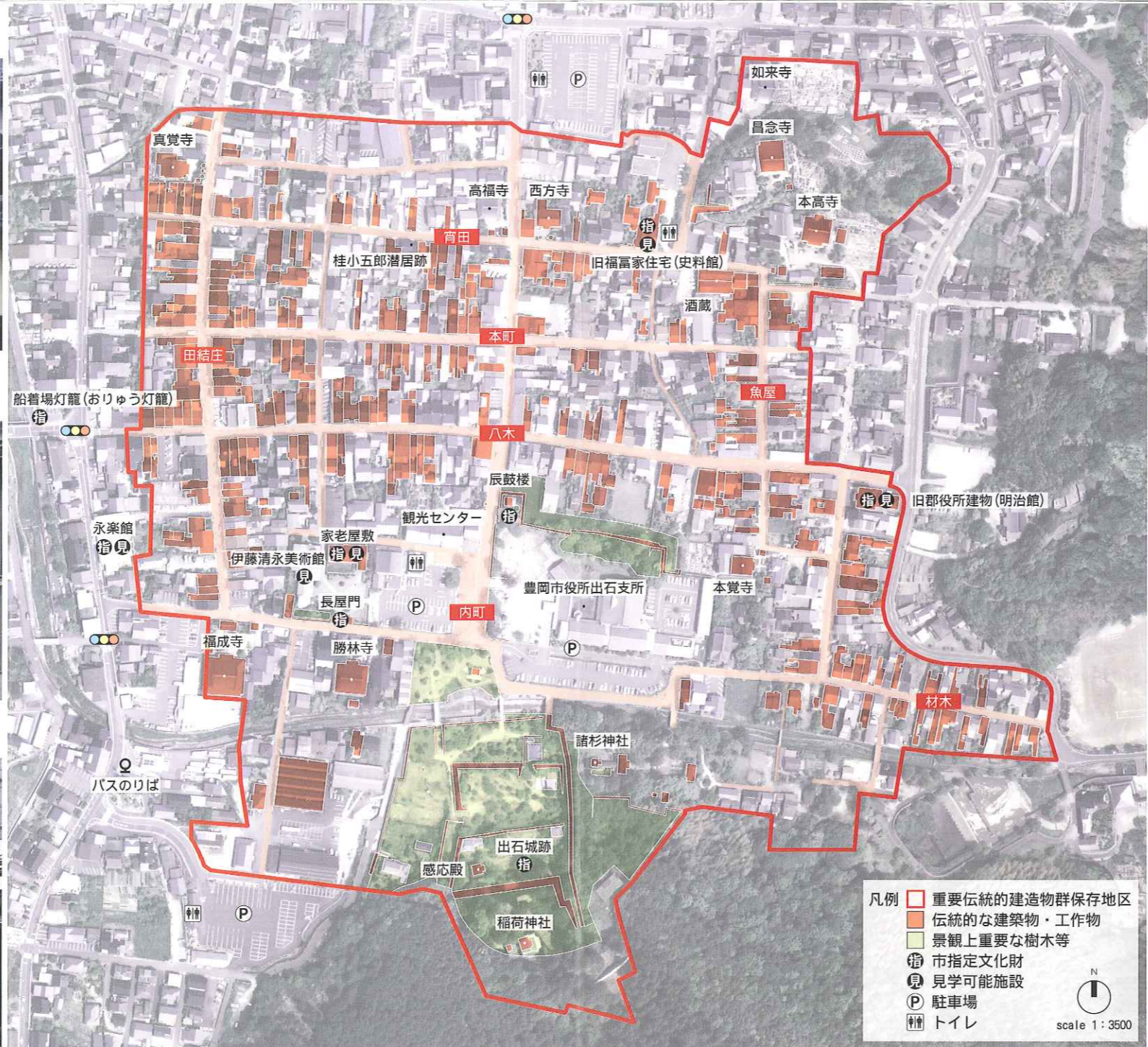
よいだ 宵田 守護大名山名氏四天王の一人「気多(けた)郡宵田城主垣谷氏」の居館があったことが由来です。料理屋や仕出屋が多く立地していました。



ほんまち 本町 城下の中心町であったことが町の由来です。大手筋の四辻には高札場が設けられていたので「札の辻」と呼ばれていました。



たいのしょう 田結庄 守護大名山名氏四天王の一人「田結庄氏」の居館があったことが町の由来です。藩の産物会所が置かれ、生糸などの売買がされていました。



うおや 魚屋 城下町形成時に魚屋が集まっていたことが由来です。「吹田屋」「門垣屋(もんがきや)」「和泉屋」など大商人が多く居住していました。



やぎ 八木 守護大名山名氏四天王の一人「八木氏」の居館があったことが町の由来です。まちなみの裏側(大手筋より東、南側)には内堀が囲っています。

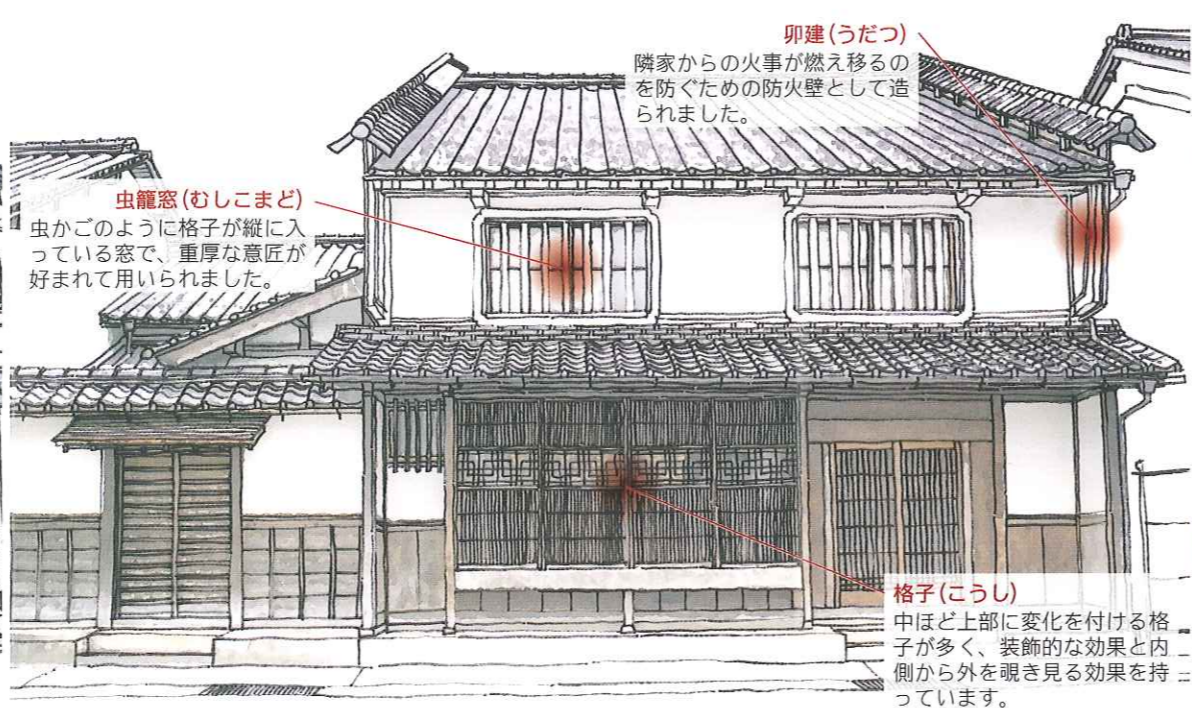
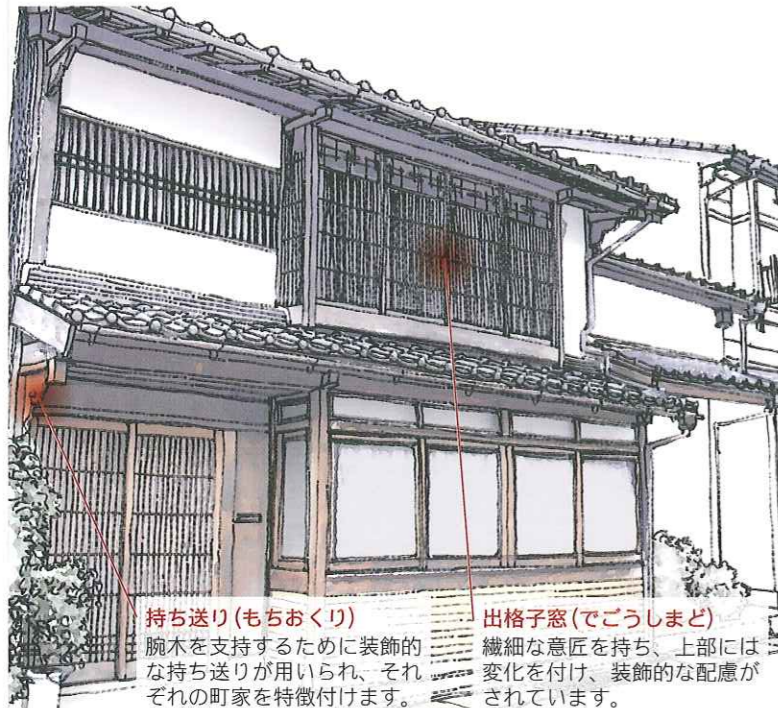


さいもく 材木 城下町形成時に材木屋が集まっていたことが町の由来です。藩の御勘定所「義倉(ぎそう)役所」や藩校「弘道館」がありました。



伝統的建造物の意匠

江戸時代から伝わる町家様式を基本に、明治、大正期を経て発展した質の高い伝統的意匠が見どころです。虫籠窓や卯建のある厨子(くし)二階の重厚な建物や、出格子窓を備えた軽快で温かみのある建物などがあり、特に格子の緻密なデザインは出石城下町のまちなみを大きく特徴づけています。



多様な伝統的建造物

